

## ○学校設立委員会発足までの経緯

令和元年9月

- 矢沢中学校PTAの教育懇談会において、参加者から「中学校だけではなく、小学校の校舎も老朽化が進んでいる状況で、2校とも改築もしくは長寿命化改修することを考えると、小中一貫校の導入を検討することが必要ではないか。」という意見が出されました。

令和3年7月

- 矢沢地区の未来を担う子どもたちの義務教育9年間がどうあるべきかという視点から、より良い教育環境を充実させることを目的として、矢沢小中PTA役員と両校の校長、副校長で構成する「矢沢小・中PTA学校の在り方検討委員会」が組織され、以降、県内の小中一貫校や義務教育学校の視察が行われました。

令和5年3月

- 「矢沢小中学校の教育環境の整備に関する説明会」を開催し、検討委員会及びPTAの総意として、矢沢小中学校を義務教育学校に移行する方向性について矢沢地域振興会に報告し、地域としてもこの方針を了承されました。

令和5年4月

- 矢沢小中学校の両PTA会長、矢沢地域振興会会長より、市長及び教育長に対して「花巻市立矢沢小学校・矢沢中学校を義務教育学校へ移行するための要望書」が提出され、市として義務教育学校設置に向け取り組んでいくこととなりました。